



さが
まち 4

2008.
Spring
&
Summer

私たちのまち さがみはら まちだ。
今まで知らなかった大学や地域の情報が盛りだくさん。
「さがまち」は大学生が企画・取材・編集しました。

CONTENTS

02
03

一春を見つけに行こう。さがまち散歩地図
【相模原】水郷田名周辺/【町田】薬師池周辺

04

日本人のDNAを揺さぶる芸術——花火。
株式会社ファイアート神奈川 和田 順氏 インタビュー

05

さがぐるまぐる
【相模原】かんこ焼き/【町田】瓶詰めプリン

06

Bigなエネルギーで学生を変えろ！
淵野辺ボンパイエ！

07

さがみはらまちだ地域情報掲示板
さがまちスクラップル

春を見つけに行こう。さがまち 散歩地図

日々あたたかさが増して、外に出かけたくなるこの頃。そこで今回は、天気の良い日に出かけたい相模原・町田のおすすめスポットを特集します。家族や友人や恋人と(ひとり旅もいいかも?)足を運んでみませんか。



① 新堀用水路(旧島山用水)

水郷田名にきたらここを歩くのがオススメ。昔懐かしい独特の雰囲気味わえます。この用水路、なんと江戸時代からあるそうです。とても澄んでいて、大きな鯉がびっけりしました。口をばくばくしている鯉を見ていると時間の流れを忘れてしまいそうです。



② 桜並木(相模川散策路)

鯉のいる用水路に沿ってまっすぐ歩くと桜並木が見えてきます。花びらに誘われて土手に上がると、桜を背に水面(みなも)がきらきらと光る川を一望できます。右手に広がる山々は私たちが優しく包んでくれるような空間をつくってくれます。自然と優しい気持ちになれるこの場所でお花見などはいかがですか。



③ たぬき菩薩

長いひの板を下ると薄暗い洞穴のようなものがあります。昼間なのに、そこだけ異様な雰囲気を放っていました。奥にいる狸の像に吸い寄せられるように中に入りたくくなります。まるで狸が存在に気づいて欲しいかのように。ここに奉られている狸の由米の書かれた碑石を見に、夏の肝試しに興じてみるのも面白そうです。



④ 駄菓子屋マミー

ちょっと歩いたので小腹がすいてきた……そんな時に通りかかるのがココ。出迎えてくれるのは笑顔の素敵なおばさん。25年続く隠れた名店☆駄菓子屋マミー。1000種類以上の駄菓子を取り扱い、地元のお客さんの中には2世代にわたって通う人もいます程だそうです。懐かしい味を是非食べに行ってみてください。

・相模原市水郷田名2-13-25
・042-762-9952
【営業時間】
午前9時～午後7時 ※毎週火曜日



【町田】薬師池周辺

【相模原】

水郷田名周辺



③ ぼたん園

薬師堂から出発し、あぜ道を通り、のどかな景色を裸目に歩いて17分。純和風の門をくぐるとそこには250種類1200株ものぼたんが迎えてくれます。久しぶりに土の上を散歩しながら、手隙隙をかけて丁寧に作られた色鮮やかな大輪のぼたんに囲まれて春の陽射しを感じてみては。園内の各所には休憩コーナーが設けてあり、ゆったりと春を満喫できます。(開花時期に注意)

・東京都町田市野津田町2274-1
・042-736-4477
【開園時間】
午前9時30分～午後4時
【アクセス】
小田急町田駅21番乗り場から本町田駅由鶴川駅行き、または、本町田駅由野津田駅行きバスで「薬師ヶ丘」下車、徒歩7分
【入園料】
大人500円/中・高生200円
開花期間4月12日～5月6日(予定)のみ有料
開花期間以外は無料



② 薬師池公園

薬師池公園に一步入ると車の音が耳から消えます。ここは近所の人だけでなく鳥達の憩いの場でもあります。きれいに整備された1万2800㎡もの広さを誇る園内には文化財にも指定されている茅葺き屋根の古民家や水車小屋、フォトサロン、やくし茶屋など趣ある場所がいくつもあります。四季折々さまざまな表情をみせてくれる園内では桜の花も楽しめます。春の足音に耳を傾けに行きませんか。

・東京都町田市野津田町3270
・042-793-7611
【開園時間】
午前6時～午後6時
(6月～8月は午前6時から午後8時)
※駐車場利用時間も同じです
【アクセス】
小田急町田駅北口21番乗り場から本町田駅由鶴川駅行き、または本町田駅由野津田駅行きバスで「薬師ヶ丘」下車



① 町田リス園

ここでは、5種類のリスの他に、ウサギ・モルモット・プレーリードッグ・カメなどが飼育されています。一番の見どころは、なんと「リスの放し飼いの広場」です。約150匹のタイワンリスと、直接ふれあうことができます。エサを見せるとすごい速さで寄ってくるリスには圧倒されますが、手の上でエサを食べる様子は可愛くて、とても癒されます。

・東京都町田市金井町733-1
・042-734-1001
・http://www.13ocn.jp/rissen/
【入園料】
子供(3歳以上小学生) 200円
大人(中学生以上) 400円
※団体割引(20人以上)
子供100円 大人300円
【休園日】
*火曜日(祝日の場合例外、次の平日休園)
*年末年始 12月27～1月1日
*6、9、12月は(第一火曜日+金曜日)

園長さんにお話を聞きました! 園長さん) この施設は、昔段動物とふれあう機会の少ない子どもたちのためにつくられました。ふれあうことで、子どもたちが動物への優しさを覚えてくれますからね。今は子どもたちだけでなく、高齢の方や若いカップルなどもよく来られるんですよ。これからイベントもたくさんあるのでは是非来てみてください!

【開園時間】
3月16日～10月15日: 午前10時～午後5時
10月16日～3月15日: 午前10時～午後4時
12月1日～12月26日: 午前10時～午後3時
【アクセス】
小田急町田駅北口21番乗り場から本町田駅由野津田駅行き、または鶴川駅行きバスで「薬師ヶ丘」下車、前方右側

日本人のDNAを揺さぶる芸術。

夏の風物詩「花火」。私たちが綺麗だと感じる一瞬の感動を追求する花火職人がいる。本番では決して表舞台に立つことのない職人たちの苦労と努力が夏の夜空を彩っている。そんな職人のいる、株式会社ファイアート神奈川取材させてもらった。ファイアートは、現在神奈川県内の約半分の花火大会を取り仕切る、明治40年から続く歴史ある老舗花火会社である。

株式会社ファイアート神奈川 専務取締役 和田順氏インタビュー



私たちは今まで何度もいろいろな花火大会に行ったことはあるものの、夜空に開くあの瞬間の花火しか知らない。まずはじめに、花火が打ち上げられる瞬間に至るまでの経緯を聞いてみた。一発の花火を作るのに半年以上の年月を要す。花火作りは空気が乾燥している冬季にむいているそうで、まさにこの時期に工場は活気が溢れている。花火大会の前には野球ボールほどの大きさのもので試し打ちなども行っているそうだ。しかし、大会前と大会当日では湿度や天候、場所も異なるため、本番と同じ色や形として打ち上げられる事はまずないという。そのために必要とされるのが職人の勘。上げてから何秒後に開くのか、色はどうかなど、長年の経験に裏打ちされた職人の勘で検証するそうだ。

・花火職人になろうと思ったきっかけは？
もともと花火が好きなんです。自分が試行錯誤した花火の構成を見てもらいたいと思ったことが一番ですね。

- ・新作花火はどのくらい出来るのですか？
新作には、やはり一年くらいはかかりますね。火薬の配合がほんの少し違うだけで、同じ色の火薬でも発色の仕方が変わってきます。自分の出した色に近い色にするために、時間をかけて配合を研究しますね。
- ・花火を打ち上げる際に気をつけている事はありますか？
破片の落下による怪我や火傷などをお客さんがしないように細心の注意を払っています。私たち職人の安全も同様です。
- ・花火の良いところはどこですか？
消えてなくなるところですね。いろんな意味で。
- ・花火作りで難しいことは何ですか？
火薬で濃い青色を出すのって、すごく難しいんです。あと、花火が綺麗に開くタイミングというのがあって、打ち上げてから約3〜5秒後なんです、それを見極めることです。
- ・最後に、花火大会で一番見てほしいポイントはどこですか？
ロケーション、つまり、お客さんとの距離や、海で上げるのか川で上げるのかによって、花火の構成が異なってきます。他の花火大会や去年の大会と比較するのも面白いかもしれません。
- 今年も県内で多くの花火大会が開かれる。一瞬の感動を追求する花火職人の苦労や努力に想いを馳せ、いつもとは違った視点で花火を見てみるのはいかがでしょうか。

2008 Fireworks Information

第59回さがみ湖湖上花火大会 2008年8月1日(金) 19:30~20:30

昭和23年、湖に開港して亡くなられた方々の慰霊と湖の安全を願うために始められた歴史ある花火大会です。打上げ数は5000発。尺玉・尺五寸玉・スターマイン・ナイアガラなど多数の種類の花火が打ち上げられます。周囲が山に囲まれているので音が身体に響き、光が湖面に映え、素晴らしい音と光の芸術を繰り広げます。

【会場】相模湖湖畔(県立相模湖公園前)
【アクセス】JR中央線相模湖駅から徒歩約10分
【問合せ】さがみ湖湖上花火大会実行委員会(相模湖駅前観光案内所) TEL / 042-684-2633

第37回相模原納涼花火大会 2008年8月30日(土) 19:15~20:45

昭和26年に「情緒と水郷と鮎のまち」水郷田名の復興を願い、旧盆に相模川の灯籠流しとともに地元消防団の手で上げられたのが始まり。当時は、大会名も「田名祭花火大会」と称されていたが、昭和46年から現在の「相模原納涼花火大会」と改められ、毎年、スターマインを中心に約8000発の花火が打ち上げられています。

【会場】水郷田名 相模川高田橋上流
【アクセス】JR津野辺駅南口・上溝駅から、神奈中バス「水郷田名」行きにて「高田橋」下車、徒歩1分
【問合せ】相模原市観光協会(相模原市観光振興課内) TEL / 042-768-8236

【相模原】企業組合いろりばた工房

かんこ焼き



さがぐる Sagamachi's gourmet navi まちぐる



【町田】NPO法人れんげ舎

瓶詰めプリン

全国郷土料理100選にも選ばれた伝統の味。

甘くて、少し濃いめの味付け。おふくろの味(世代によっては、おばあちゃんの味?)を思い出します。その優しい美味しさの秘密は何でしょうか。

一つめは、「手作り」であること。かんこ焼きは、「企業組合いろりばた工房」ですべて手作りして製造されています。組合のメンバーは、津久井に住むベテラン主婦。組合代表の本田公江さんは、「機械をつかった大量生産はしていません。機械で作るようになったら、手作りの良さがなくなってしまいますから。」と手作りへのこだわりを持ち続けてきました。手のあたたくみて生地をこねて、ひとつひとつ丁寧に作っていく製法を20年も続けているそうです。そこで培われたノウハウが、メンバーにしか作れない「おふくろの味」の秘密でした。



二つめは、伝統のある食べ物だということ。かんこ焼きは、津久井地方の昔の味を残す郷土料理です。この地域では、昔から米よりも小麦が多く作られていました。また大豆を使った味噌や醤油は、各家庭自家製のものを使っていました。その味噌や醤油で味付けした野菜などを、小麦の生地に包み、開き(いろり)の上で焼いたものをおやつに食べていました。かんこ焼きもその製法を引き継ぎ、材料となる小麦は国産のものを、中の具は地元産の野菜や旬のものを使っています。地域に根付いた素材の味が、懐かしさや親しみを感じさせるのでしょう。

去年12月に農林水産省が発表した「農山漁村の郷土料理百選」にも選ばれたかんこ焼き。「まさか選ばれるとは思っていませんでしたので、びっくりしました。全国から問い合わせがくるようになって嬉しいですね。」種類は季節によって変わりますが、漬物(高菜)・かぼちゃ・きりばし・あづき・しめじなどがあります。是非みなさんも食べてみてください。

Shop Information



津久井湖観光センター

相模原市津久井町太井1274-2
TEL/042-764-6473 FAX/042-764-8938
営業時間 9:00~17:00 年末年始以外は年中無休
●鳥居町ふれあい館(相模原市津久井町鳥居)・いやしの湯(相模原市津久井町町町)などでも購入できます。

若いセンスがキラリと光る、 他では味わえない創作プリンたち。

店頭にはずらりと並ぶカラフルなプリン。黒胡麻、ジンジャーミルク、いちご大福……どれを選ぶか、ショーケースの前でずっと迷ってしまいます。

瓶詰めプリンは、高さ7.5センチのジャム瓶に入っていて、その内容量140~145グラムと、ボリュームたっぷり。一番人気の黒胡麻プリンは、プリンの上に木の实などのトッピングと、真っ赤なカシスソースがかかっている、とても鮮やかなプリンです。見た目だけでなく、味も一風変わった美味しさです。

このプリンを販売しているのは、NPO法人れんげ舎が運営するカフェ「金魚玉珈琲」。れんげ舎は、子どもや若者の支援事業を行っている組織です。「金魚玉珈琲」は、れんげ舎の活動資金を得るために始まりましたが、目的はそれだけではないようです。「私たちNPOの活動は、社会との接点がありません。地域の人が気軽に入ってもらえる、親しみやすいカフェをつくることで、れんげ舎の活動にも親しみを持ってほしいからです。」と代表の長田英史さん。

開店当初は、「ジンジャーミルクプリン」のみがメニューの一部として販売されていました。そのめずらしさに、「持ち帰りしたい」というお客さんが増え、その声に応えて瓶詰めにして販売するようになったところ、大人気となったそうです。プリンの味を考案するのは、若いスタッフたち。若者ならではの発想で、個性派プリンが生まれます。これまでに考えたプリンの味は、なんと20種類を超すそうです。

この春には、季節限定の「さくらプリン」(右写真)も登場する予定です。季節によって種類は変わってしまうので、気になる味があったらすぐにお買い求めください。



Shop Information



金魚玉珈琲

町田市津原1-2-6
TEL&FAX: 042-720-2229
営業時間 11:30~25:00(月曜は17:00まで)水曜定休
●瓶詰めプリンは楽天市場でも購入できます。
<http://www.rakuten.co.jp/kingyodama/>

大学と地域の連携によるまちづくり

相模原・町田大学地域コンソーシアム

「相模原・町田大学地域コンソーシアム」は、相模原市と町田市を生活圏とする大学、NPO、企業、行政など様々な主体が連携し、それぞれの特性を活かした協働を通じて、魅力あふれる地域社会を創造することを目的に、2007年（平成19年）6月に設立しました。多彩な学びの場を市民に提供する「教育学習事業」、まちづくりの担い手を育成する「人材育成事業」、新たな文化・福祉・産業の発展に寄与する「地域発展事業」を事業の柱とし、参加機関それぞれの得意分野を活かしながら様々な事業を展開していきます。

事業紹介

さがまちプレ・コンソーシアム大学

学ぶことは面白い。

みんなの「学び」をもっと身近に

sagamachi pre
consortium univ
さがまちプレ・コンソーシアム大学

「さがまちプレ・コンソーシアム大学」は、日常の暮らしに役立つ知識や、社会的な課題の解決など身近な話題をテーマに、学びの楽しさを伝えることを目的に企画され、2008年度から開講予定の「さがまちコンソーシアム大学」のパイロット版として開講されました。



2月26日 環境学習インストラクター養成講座

環境問題の基礎的な知識と、グリーンマップの作り方を実践的に学ぶ。

【受講者の感想】

環境問題がいかに深刻かということが痛感できました。実践的に学んだグリーンマップの手法を今後の活動に活かしていきたい。



3月1日 認知症予防講座

認知症の正しい知識と予防法、認知症サポーターの役割を学び、認知症疑似体験プログラムを体験。

【受講者の感想】

初めて受講したが非常に勉強になった。誰でも認知症になる可能性があるのも、もっと理解を深めていく必要があると思いました。



3月3,10,17日 子どもコーチング基礎講座

子どもとのコミュニケーションのコツなど、実践的なエクササイズを交えてコーチングの基礎を学ぶ。

【受講者の感想】

学ぶことの楽しさと、いろいろな人に出会えたことに感謝しています。先生のお話は大変わかりやすく、興味を持って学ぶことができました。



3月16日 メタボリックシンドローム予防講座

メタボリックシンドロームの基礎的な知識を医療・食育・運動面から学ぶ。手軽な運動やヘルシースイーツづくりを体験実習。

【受講者の感想】

メタボという言葉は知っていても詳しく理解できていなかったのも、とても参考になりました。実習での楽しいひととき、有難うございました。

大学生による地域情報番組がスタート！

J:COM 相模原・大和エリア、町田・川崎エリアで放送
J:COMチャンネル(デジタル11ch、アナログ2ch)

4月1日からコンソーシアムの番組「学生情報局 さがまちパンパン」がスタートします。学生たちの目線で学生自らが取材・制作する地域情報番組！担当大学は当番制で、4月の担当は和光大学です。ぜひ、ご覧ください。



【放送時間】
月水金土日曜 午後3時～
火木曜 午後7時30分～
(5月のみ午後6時30分～)

参加機関(50音順)

- 【大学等】 青山学院大学・麻布大学・和泉短期大学・桜美林大学・北里大学・相模女子大学・相模女子大学短期大学部・昭和薬科大学・女子美術大学・玉川大学・多摩美術大学・帝京大学(薬学部)・東京家政学院大学・東京女学館大学・法政大学・和光大学
- 【企業等】 株式会社さがみはら産業創造センター・株式会社八千代銀行・相模原商工会議所・町田商工会議所
- 【NPO法人】 NPO法人相模原エスティアート・NPO法人さがみはら市民会議・NPO法人CCNET・まちだNPO法人連合会
- 【行政】 相模原市・町田市

さがまち4の取材・編集に参加した学生

- 泰永彩加(青山学院大学)
- 井岡里恵・梅本郁美・山崎詩織(相模女子大学短期大学部)
- 浅見なつこ・立原さやか(和光大学)

制作・デザイン **BYSPICE DESIGN** バイスバイスデザイン

大学と地域の連携によるまちづくり情報紙 「さがまち」No.4

発行月：2008年3月
発行所：相模原・町田大学地域コンソーシアム
URL：http://www.jouhou.org
E-MAIL：info@jouhou.org



「ちょっと行ってくる」で、
行けるところがたくさん。

さがみはらで遊べる主なスポーツ施設

- | | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 淵野辺公園
相模原市西3-1-6
TEL/042-753-8930 | | | | ・テニスコート6面(射入り人工芝)
・ひばり球場(ソフトボール)
・旗立和泉原球場(硬式野球可)
・アスレチック |
| 銀河アリーナ
淵野辺公園内
TEL/042-776-5311 | | | | ・量：プール
・量：アイススケート場 |
| 小山公園
相模原市小山4-1
TEL/042-700-0901 | | | | ・グラウンド(ソフトボール、野球、サッカー)
・スケートボードエリア
・インラインスケート
・バイクスクモトクロス
・3on3バスケットボールエリア
・ストリートダンスエリア |

※テニス、ソフトボール、野球など複数の施設は、「さがみはらネットワークシステム」にて予約が可能です。「さがみはらネットワークシステム」は、相模原市と町田市の両市で共通の予約システムです。ソフトボール、野球などの予約は、10時以上の前日までに予約が必要です。また、予約の際は、必ず予約料金を支払う必要があります。

※市民の健康増進を目的として、3歳以上の子どもは無料でご利用いただけます。
※上野原駅前屋内体育館など、さがみはらにはまだまだスポーツ施設があります。
詳しい情報は下記ホームページにて公開中
www.sagamiharashi-toshiseibi.com

財団法人
相模原市都市整備公社

相模原市富士見6-6-23
TEL /042-751-6623